

技術士包装物流会 11 月度講演会 講演要旨

日時	2025 年 11 月 10 日 (月) 18:00—19:30
場所	WEB 配信 + 機械振興会館 B3-9
演題	食品リコールは全体の 60% に及ぶ、もったいない、工夫の積み重ねで半減可能⇒食の安全安心を推進する
講師	堀内技術士事務所 堀内 康夫氏
内容	<p>我が国の年間リコール件数は 2010 年以前では、年間 200 から 400 件で推移してきたが、2025 年には、1400 件になろうとしている。このうちの 60%以上が食料品関係から発生している。</p> <p>2009 年に消費者庁が発足し、従来は当局から回収命令が発信されていたが、消費者の安全を優先し、事業者自ら商品回収を発信することになった。また商品回収を発信しても、事業者の信頼が低下することにはならなくなった。リコール発信件数が上昇した一因であると考え。</p> <p>しかし先の死傷者が多数でた紅麴問題、味噌汁にネズミが入っていた食品事件だけでなく、アレルギーの欠落、賞味期限ミス、異物混入等が多く、食品事業者の緩い一面が垣間見られる。ポイントを押さえれば半減は可能であると講演する。</p>